

平成19年度 事務事業評価表		担当	建設部 建築住宅課				内線等	2332
事務事業名	建築指導事務事業			事業コード	5. 義務的事業			
根拠法令等				Eなし				

総合計画での位置付け

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	住宅
------	--------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	市内に建物を建築しようとする人及び建物に関して疑問等のある方に
手 段	建築基準法等の説明、建築に係る相談業務をすることにより
想定する成果	快適で安心出来る家づくりのアドバイス機能を果たす。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
相談件数	460件	470件	500件

成果指標

成果指標名	1日当たりの相談件数
成果指標の説明	年間相談件数/市役所開庁日数

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		1.89件				1.93件				2.05件			
成果指標													
事業費	事業費	0				0				0			
	人件費	3,114				2,734				2,746			
	(人数)	正規	0.4	非常勤	0.0	正規	0.35	非常勤	0.0	正規	0.35	非常勤	0.0
	合計	3,114				2,734				2,746			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	3,114				2,734				2,746			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	民間への確認事務移行のため相談件数も徐々に減少しつつある。
経済効率性	3	3	3	3	建築指導のため特別必要な事務費はない。
事務効率性	2	2	2	2	受付日は定めず開庁時間であれば受付している。
必要性	-	3	-	3	義務的事業
小計	8	11	8	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	建物の建築から付近の状況等多種多様の相談がある。
合計	11	11	11	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
なし
上記改善点の実施状況

今後さらに改善すべき点

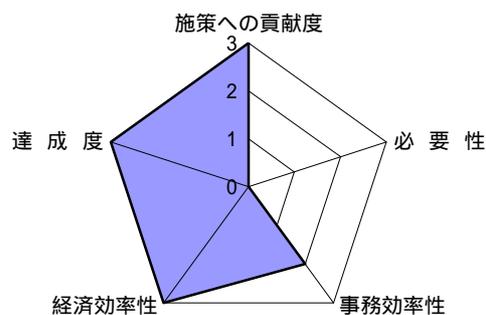
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点